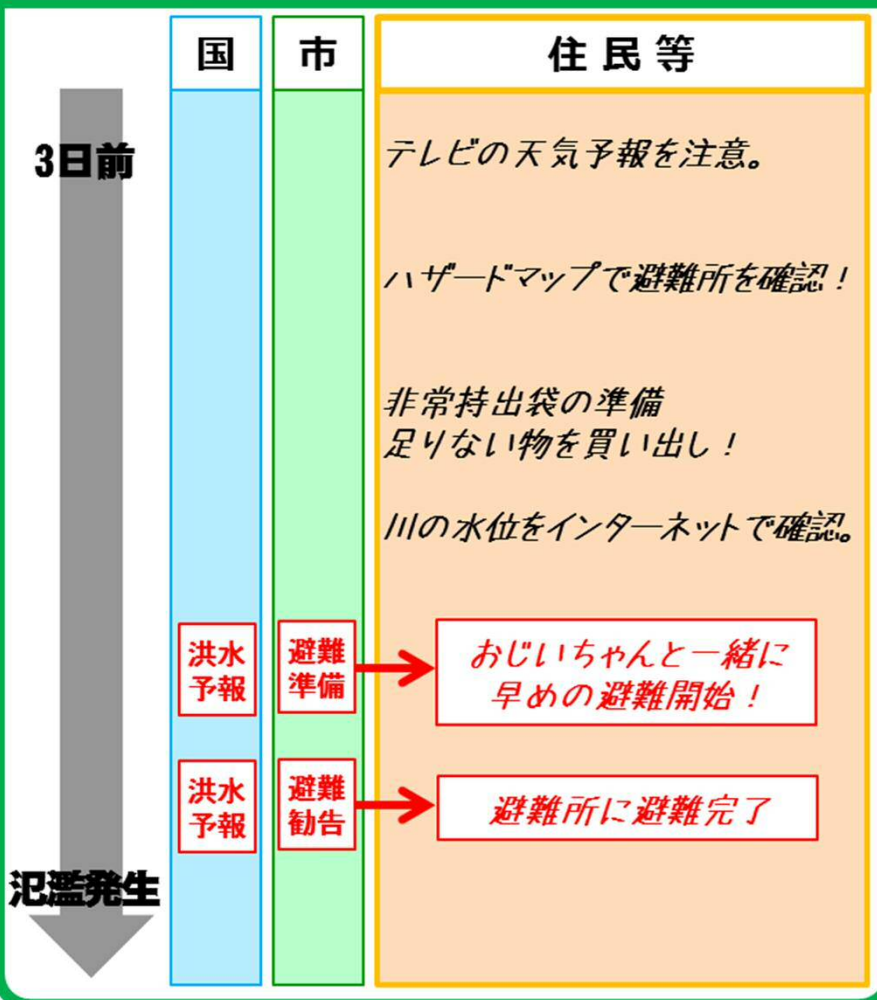


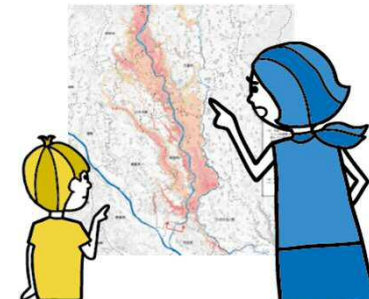
マイ・タイムラインとは…

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)

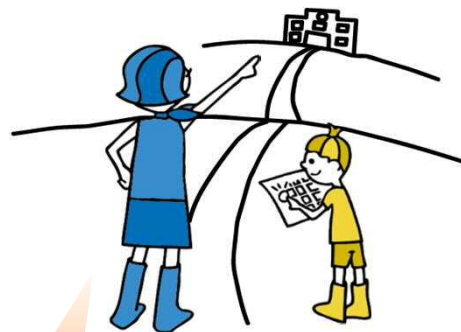


マイ・タイムラインの検討の過程で…

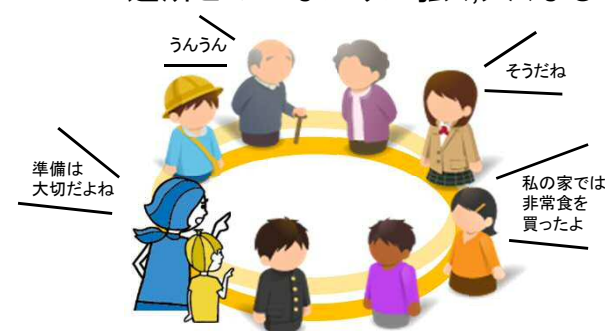
- ❗ リスクを認識できる
 - ・自分の家が浸水してしまう
 - ・避難所まで遠い など



- ❗ 逃げるタイミングがわかる
 - ・いつ逃げる?
 - ・誰と逃げる?
 - ・危険な場所をよけて逃げるには?



- ❗ コミュニケーションの輪が広がる
 - ・検討会での意見交換などで、知り合いになれる
 - ・ご近所とのつながりが強く、太くなる



マイ・タイムラインができると…

- ❗ 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- ❗ 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ

常総市のモデル地区におけるマイ・タイムライン検討会

モデル地区の住民、常総市、警察署、消防署、茨城県、気象庁、国土交通省下館河川事務所に加え、各分野の学識者で構成される『マイ・タイムライン検討会』を設置し、住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを自ら検討する取り組みを進めています。

検討会の進め方

ステップ1 自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

- 過去の洪水を知る
- 地形の特徴を知る
- 水害リスクを知る



自分達の住んでいる地区が浸水するかを知らしましょう。

ステップ2 洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る

- 洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
- タイムラインの考え方を知る
- 洪水時の自らの行動を想定



いつ逃げはじめたらいいのかなあ？

ステップ3 マイ・タイムラインの作成

- 一人ひとりのタイムラインを作成



これで、逃げるタイミングがわかったわ！

モデル地区

今年度は、**若宮戸地区**、**根新田地区**をモデル地区として、検討会を進めます。



学識者

- 筑波大学システム情報系社会工学域
川島宏一 教授
- 茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科
地球変動適応科学研究機関
伊藤哲司 教授・機関長
- 筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域
白川直樹 准教授

常総市で第1回マイ・タイムライン検討会を実施

常総市において第1回マイ・タイムライン検討会を実施しました。検討会では、参加者お一人お一人に配布したマイ・タイムラインノートという教材に沿って、関係機関の解説を聞きつつ、自宅の位置や家族の構成を書き込んでいただきました。今回はステップ1『自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る』として、過去の洪水・地形の特徴・水害リスクについて授業形式で実施しました。

- 根新田地区 第1回 平成28年11月20日 住民 73世帯 86名 参加
- 若宮戸地区 第1回 平成28年11月27日 住民 71世帯 80名 参加

マイ・タイムライン ノート

名前 _____

河川名	鬼怒川
地区名	
自治体名	
続柄	名前

家族全員を記入しましょう。

みんなでタイムラインプロジェクト

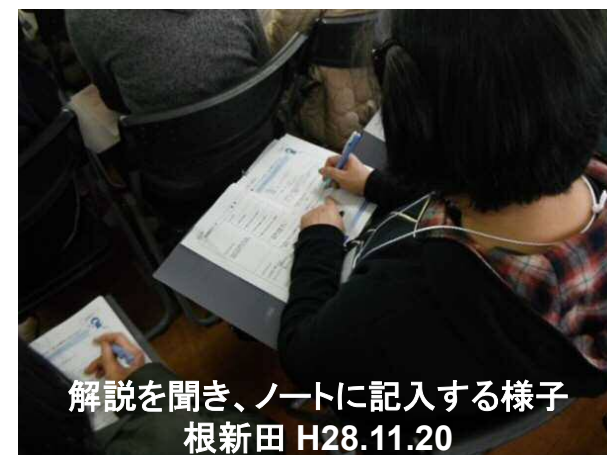
←マイ・タイムラインノート

ノートには「知る」「気づく」「考える」を記入する欄があり、住民は関係機関の解説を聞きながら、自分自身の状況を記入し、最後にマイ・タイムラインを作ります。

↓マイ・タイムラインの抜粋



会場の様子 根新田 H28.11.20



解説を聞き、ノートに記入する様子 根新田 H28.11.20

常総市	地区	家	鬼怒川マイ・タイムライン
<p>3日前</p> <p>行政情報 [県・国・自治体] 河川・下流河川 [消防・消防団] 消防・消防団 ○台風予報 ○台風に関する紙木書、気象庁気象情報等</p> <p>2日前</p> <p>○大雨注意報・洪水注意報</p> <p>1日前</p> <p>公共の動き</p>	<p>住民等(例)</p> <p>○テレビの天気予報を注意</p> <p>○家族全員の今後の予定を確認</p> <p>○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出し)</p> <p>○1週間分の薬を病院に受け取りに行く</p> <p>○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で高や川の様子に注意</p> <p>○家族全員の今後の予定を再確認</p> <p>○準備</p> <p>記入例</p>	<p>作成のポイント</p> <p>① 進出する予定がある場合は、早急の発表情報に注意しましょう。準備ができていない場合は、今後のキャンセルも視野に入れて行動しましょう。</p> <p>② 事前に準備しておきましょう。</p> <p>③ 高で飛ばされる紙木書、消防団、消防団の準備</p> <p>記入のポイント</p>	<p>住民がマイ・タイムラインを記入する欄</p>



解説の様子 若宮戸 H28.11.27



解説を聞き、ノートに記入する様子 若宮戸 H28.11.27

常総市で第2, 3回マイ・タイムライン検討会を実施

常総市 根新田地区においては第2, 3回、若宮戸地区では第2回のマイ・タイムライン検討会を行い、住民一人ひとりがそれぞれの環境にあったタイムラインを完成させました。今回はステップ2『洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る』、ステップ3『マイ・タイムラインの作成』を実施しました。検討会では、グループ討議やリーダー・代表者による発表を行い、自分一人では気が付かないことを参加者全員で共有しました。今回作成したタイムラインは第1弾であり、今後、家族構成の変化や訓練、実際の洪水の体験を踏まえ、より現状にあったタイムラインへ更新を繰り返していきます。

- 根新田地区 第2回 平成29年 1月29日 住民 51世帯 60名 参加
- 第3回 平成29年 2月19日 住民 49世帯 59名 参加
- 若宮戸地区 第2回 平成29年 2月 5日 住民 38世帯 41名 参加



会場の様子 根新田 H29.1.29



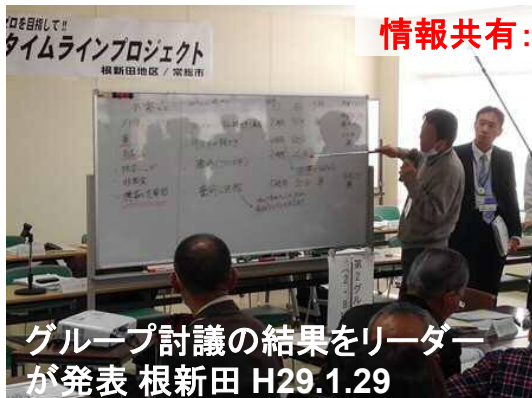
グループ討議の様子 若宮戸 H29.2.5



グループの代表者による
タイムラインの発表
若宮戸 H29.2.5



住民が作成したタイムライン
若宮戸 H29.2.5



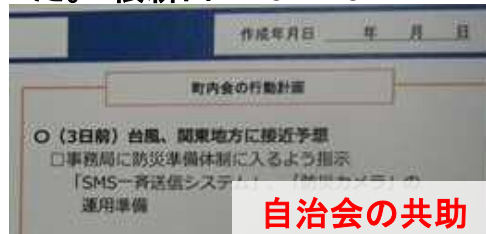
情報共有: 自分一人では
気が付かない
ことを共有

グループ討議の結果をリーダー
が発表 根新田 H29.1.29



検討会の様子
根新田
H29.2.19

根新田地区においては、町内
会のタイムラインの発表があっ
た。 根新田 H29.2.19



自治会の共助